

# 鉄道を麻績に通す

～地域素材の教材化と先人の働きについて学ぶ子どもの思考～

麻績村立麻績小学校  
草間 隆志



## 1 研究の概要

- 4 年 社会科で「地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解する」単元を学習するにあたって、①子どもが、学習によって得た知識と麻績村の日常を相互に関連付けることによって、より深く考えることができるのではないか。
- ②子どもが、学習によって得た情報と麻績村の歴史を知る方の情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだしたりして解決策を考えることができるのではないか。
- ③子どもが、愛着のある故郷への思いや考えを基に、故郷の発展のために尽くした先人への思いや考えを創造することができるのではないか。と考え、地域素材を教材化し、子どもの思考や変容を探ることとした。

主体的・対話的で  
深い学びに向けた  
授業改善の視点

## 2 資料の整理

本校の図書館司書職員に紹介していただいた、篠ノ井線開業に関する資料

- ・麻績村誌下巻 (1989 麻績村編集会)
- ・明治町百年史 (2008 明治町百年史刊行会)
- ・うるわしきふるさと東川手 (2005東川手の歴史を語る会)
- ・信州の鉄道 (1987 信濃毎日新聞社)
- ・記者五十年のうらばなし (1975 藤原謙児 妻つた 共著)



小学4年生には難解な語句や表現が多く、漢字に仮名がふられていなかったことから、教師が4年生にも分かりやすい表現に書き直し、出典を明らかにした上で資料として配付した。

## 3 単元構想 (知識の構造図)

東京書籍「教師用指導書研究編」を参考にして作成

中心概念	社会的背景	用語・語句
様々な苦心や苦業を重ねて鉄道を麻績に通した先人の働きにより、人々の思いが実現し、麻績村が発展してきた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代、麻績村は農業と林業を主産業として発展してきた。</li> <li>明治時代、麻績村は農業と林業を主産業として発展してきた。</li> <li>明治時代、麻績村は農業と林業を主産業として発展してきた。</li> <li>明治時代、麻績村は農業と林業を主産業として発展してきた。</li> <li>明治時代、麻績村は農業と林業を主産業として発展してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻績村</li> <li>篠ノ井線</li> <li>麻績村</li> <li>篠ノ井線</li> <li>麻績村</li> <li>篠ノ井線</li> <li>麻績村</li> <li>篠ノ井線</li> <li>麻績村</li> <li>篠ノ井線</li> </ul>

## 4 授業実践

### (1) 聖高原駅の見学

今のプラットフォームの下に、古い煉瓦のホームがあるよ。ずっと昔から使われている駅なんだね。(E児)

**「昔(明治時代)の建造物=煉瓦造り」というイメージの構築**

駅は、明治町通りとつながっていたよ。昔、明治町が賑わっていたから麻績に鉄道を通ったのかな。(D児)

**3年生で学習した「明治町の様子に移り変わり」を思い出す**

【学習問題】明治町が賑わっていたから鉄道が麻績に通ったのか。それとも、鉄道を通ったから明治町が賑わったのか。

### (2) 明治町発展(調べ学習)

明治町通りができたのは、駅と善光寺街道をつなぐためだったことが分かった。明治町は、昔は賑わっていたけど、今はガラんとしているから、昔みたいに商売をしてほしいな。(E児)

私は、麻績に駅がなくてもいいと思っている。なぜなら、今は車があるから。(D児)

**昔の麻績のことを学習しながら、「今」を見つめている子どもたち**

【学習問題】鉄道を通る前の麻績村の様子を調べよう。

### (4) 長野と松本を鉄道で結ぶ計画路線(調べ学習)

地図で見比べると、今電車が走っている線と昔の計画線がだいぶ違う。(E児)

おばあちゃんが、「もし篠ノ井線がなかったら引越していた。」と言っていた。ママは、「麻績に駅がなかったら、高速道路もないよ。」と言っていた。篠ノ井線があつてよかった。(C児)

石丸さんが勝手にルート決めるのはよくない。(B児)

**筑北ルートではなく犀川ルートで、長野-松本間に鉄道を通そうとした鉄道技師の石丸重美に嫌悪感をもった子どもたち**

### (3) 鉄道を通る前の麻績(調べ学習)

松本まで3.2km、立峰と刈谷原峠を歩いて越えていたなんて信じられない。もしも、麻績村に電車がなかったら、今電車でお仕事に行っている会社員は、この村にいなかったと思う。Bちゃんのお父さんは電車通勤だから、Bちゃんもいなかったかもしれない。電車があつてよかった。(C児)

**家族や友だちからの情報を精査しながら、自分の考えを形成していく子どもたち**

私は、「電車なんかなくても別に関係ない。」と思っていたけど、他の人たちは使う人もいるので、今は、電車は必要だと思っている。(D児)

**自分を中心に物事を見ていたD児の視野が広がっていく**

【学習問題】なぜ、鉄道が麻績に通ったのだろう。

### (5) 鉄道を麻績に通した藤原喜之作(調べ学習)

僕にとって、喜之作さんは誇りに思える人だ。もしも、喜之作さんがいなかったら、僕もここに住んでいなかったかもしれない。(A児)

喜之作さんの提案した筑北ルートが、石丸さんの心を掴んで「スキューン」となっていなかったら、クラスみんなに出会えていなかったと思う。(B児)

**藤原喜之作のおかげで麻績に鉄道が通り、自分たちの学級が成り立っていることを実感し、感謝の念を抱いた子どもたち**

### (6) 篠ノ井線廃線敷見学

線路は、跡形もなくなっていた。廃線になった駅は、土砂崩れなどで危ないからだったと思った。(A児)

2kmあるという第二白坂トンネル跡は、煉瓦でできていた。だから、たぶんトンネルの中も煉瓦だと思う。煉瓦なら作るのに1年はかかりそうだな。(F児)

**煉瓦造りのトンネルや廃線敷の立地等から、建設当時の様子や苦勞を感じ取った子どもたち**

【学習問題】当時のトンネル工事の様子を調べよう。

### (9) 学習評価



単元テストの作成

### (8) 篠ノ井線乗車(見学)



### (7) 難工事だった第二白坂トンネル、冠着トンネル(調べ学習)

トンネル工事の犠牲者は、無念だったと思う。だから、トンネルを作ってくれた人たちには、本当に心から「ありがとう」と思わなきゃいけないと思う。(C児)

喜之作さんが石丸さんに提案した白坂トンネルで死者が出ているのに、今ではそのトンネルが使われていないなんて残念。(E児)

たぶん、これでも喜之作さんのおかげで死者が減ったと思う。喜之作さんがいてよかったと思う。(B児)

**資料を読み、感想を伝え合うことによって深まっていく学習**

## 5 まとめ

麻績は、鉄道に救われたと思う。(E児)

篠ノ井線のおかげで、このクラス6人が会えたことが本当にうれしい。(C児)

地域の発展に尽くした先人の働きは、今の自分たちの生活にも大きく関わっていたことを実感した子どもたち